

# Key Person



昌和電工(株) 代表取締役

## 仲 昌和

全国各地に赴いて送電線工事や保守・点検を行い、  
一年365日、人々のライフラインを支える職人「ラインマン」。  
その一人として活躍する仲社長は、この道25年の匠だ。  
並々ならぬ努力と向上心で、優れた技術力と実績を培い、  
「この職人がいれば現場の問題は解決する」と全国区で指名されるほどの実力を持つ。  
しかし社長は決して、その名声に満足せず、次なる目標を人材育成に定める。  
「頭を抱える同業者を救えるような、本物の職人だけが揃う会社を目指したい」と社長。  
業界に二つとない企業となるべく、力強く歩み続ける。

(対談記事は\*~\*頁に掲載)

「全国にほんの一握りしかない  
一流の職人だけが揃う会社を目指します」

# 匠

# 若い力で送電線業界 日本一の職人が揃う

COMPANY PROFILE

## 昌和電工 株式会社

千葉県柏市藤心4-13-4



人々の暮らしを支える電気。その安定供給のための送電線工事をはじめ保守・点検などを行っているのが「ラインマン」と呼ばれる職人たちだ。『昌和電工』の仲社長はそんな送電線業界一筋に25年以上腕を磨いてきた人物。昨年、満を持して独立後は優れた技術力と向上心で以て、他社に先駆けた挑戦を続けるなど業界に存在感を示している。本日は野村将希氏が同社を訪問。情熱を胸に事業を続ける社長の人物像に迫った。

### ■ 尊敬する親方と出会い 送電線工事職人として成長する

——仲社長は長く送電線工事業界を歩んでこられたのでしょうか。

10代半ばからこの道一筋に歩み、25年以上になります。この業界に入ったのは、中学3年生の時に前勤務先である『滝送電』の瀧正明社長と出会ったことがきっかけでした。在学中から会社や現場を何度も訪れ、16歳で正社員として採用していただいた後は、昨年退職するまで25年間勤めました。

——大ベテランですね。勤務先ではどういった業務に携わられたのですか。

前職場では工事部長として現場を任せられ、たとえば福島第一原発の5・6号機の電源復旧の際には班長として全国から集まった70人の作業員をまとめて作業しました。また昨年、千葉で台風によって鉄塔が倒れた時の復旧作業にも駆けつけました。

——様々な地域で人々の窮地を救ってこられたんですね。大きな現場でそれだけの大人数を纏める力量のある人材を、瀧社長はよく独立させてくれましたね。

瀧社長はとても器の大きな方なんです。育てていただいた恩義があるので私からは独立の話は一切したことがありませんでしたが、仕事をする中で職人のことなどを色々と社長に相談した時に、「お前には一からやっていく力があるから、

独立してみたらどうだ？」と社長のほうから背中を押して下さったんです。ただ、暖簾分けのように援助していただくくらいなら起業しないほうがいいと考え、この『昌和電工』はゼロからスタートすることに。前勤務先の社員は一人も引き連れてきませんでしたし、今も前勤務先とは元請けが一切違います。

### ■ 本物の技術が光る職人集団を目指し 弛まぬ努力を続けていく

——一からのスタートで、お仕事はどのように獲得されたのですか。

前職時代から仕事の空きを埋めるために自分で飛び込み営業をしていたので、そのつながりで仕事をいただきました。また、前職場では同社最年少の26歳で「送電線路工事技能 架線電工一級」を取得したのをはじめ、様々な資格を取得。その中で業界で真っ先にドローンを取り入れたんですが、独立後も技術力と共にその実績や姿勢が評価されて順調に仕事を得られました。

——ほう！ ドローンですか。

それまでは作業にはヘリコプターを使っていたんですが、送電線工事に使えるのが日本に10機もなくて、どこの現場でも順番待ち。さらに雨天では飛ばせません。そこで別の手段をと、ドローンメーカーが主催する技術試験「DJIス

代表取締役

## 仲 昌和

【仲社長の足跡】東京都出身。10代半ばで送電線鉄塔工事会社『滝送電』の瀧社長と出会い、業界に飛び込む。25年間腕を磨く中で、多種多様な資格を取得。業界でいち早くドローン導入を行うなど精力的に活動した後、2019年に独立して『昌和電工』を設立した。スタート後は高い技術力と豊富な経験を買われて様々な現場で活躍。「送電線建設協会」会員などを務める傍ら、市議や保護司と協力しながら、道を踏み外した若者を積極的に雇用し、更生や技術習得にも寄与している。

# に新風を吹き込み 企業を目指す!!

ベシャリスト」の資格を取得。静岡で大手電力会社が行ったドローン延線に携わらせていただくなど5年ほど前からドローンの導入に力を入れてきました。今ではメーカーさんのほうから当社に「試作機を試して欲しい」とお声掛け下さるほどで、本当にありがたいです。

——努力して実力を認められ、信頼を獲得してこられた姿は、他の職人さんや今後業界に入ろうという若者たちの目標になりそうです。

そうなりたいですね。当社は創業から半年の今で社員が10名になりました。私が最年長と若手ばかりなのですが、その中にはかつて道を踏み外して、今更生しようと頑張っている若者が何名かいます。実は私もかつてやんちゃをしていたことがあり、彼らの気持ちが分かりますし、その分力になりたいと思って積極的にそうした若者を雇用しているんです。

——社会的意義のある取り組みですし、手本となる大人が支えてくれるのは、成長の大きな後押しになりそうです。

そうであれば嬉しいです。やんちゃな若者たちには手に職をつけて、どんどん仕事に打ち込んでいってもらいたいですね。また企業としては彼らの頑張りもしっかりと報いる制度が必要だと思うんです。この道に入った時から、私も職人に対する業界の給与水準の低さや、労働環境の悪さを問題に感じてきました。どれだけ仕事を取ってきて、どれだけ人脈があっても、現場で働く職人がいな

れば事業は成り立ちません。そのことを業界全体が気づくべきですし、だからこそ当社が先陣を切ってその問題に取り組んでいきます。

——社長のような考え方や技術力を持つ職人が増えてほしいです。

ええ。そのためにも人材育成には特に力を入れていこうと考えています。まずは職人として腕を磨くこと。便利な機械はたくさんありますが、それに頼っているだけでは、自分で対応できない職人になってしまいます。送電線工事に携わる職人は全国に数千人いますが、全国区で同業者に「この人に来てもらえば解決する」と言われる職人はほんの一握り。私はそこに入る自信がありますし、実際にたくさんの方が指名して下さいます。ですから今度は自分の技術を後進に伝え、本物の職人を育てていきたい。そして元請けと下請けがwin-winになるといより、職人同士のつながりを大切に、同業者が困ったときには助けられる、一流の職人だけが揃う企業を目指します。

(取材 / 2020年1月)



仲社長のご家族を交えて記念撮影

## 尽きせぬ感謝を胸に *Column*

仲社長が心から尊敬する人物。それは社長が10代で業界に飛び込んで以来、厳しくも温かい指導で技術を叩き込んでくれた「渾送電」瀧社長だ。仲社長にとって瀧社長は師匠であり、率直に物を言える兄貴のような存在でもあるという。強い絆で結ばれた間柄だからこそ、仲社長は自身の独立を裏切りに等しいと考えていたそうだ。しかし、そんな仲社長の背中を独立へと押し出したのは、他でもない瀧社長本人。大切に育んだ人材を手元に置き続けるのではなく、あえて起業という荒波に押し出し、同じ経営者としてその成長を見守りたい——そんな想いと大きな愛情が感じられる行動だ。

「瀧社長のもとを離れはしましたが、今でも同業者として互いの会社を支えることがあるんですよ」と仲社長。これからも感謝を胸に歩み続ける。



ゲストインタビューアー

## 野村 将希

*After the Interview*

「仲社長は社員さんのために様々な企業努力や取り組みを行っておられます。たとえば社長自身の給与は低めに設定して、起業半年目から社員さんたちにボーナスを支給。社長は休みなしでも、社員さんたちには週休2日を確保、など。また、「昌和電工」さんでは学歴で人を判断しませんが、同社を離れば学歴が必要なものもあると進学をアドバイスすることもあるのだとか。本気で社員さんを思うからこそできることですね」 野村 将希・談



SYOUWA DENKOU Co., Ltd.  
昌和電工株式会社

所在地	千葉県柏市藤心 4-13-4
設立	2019年7月
代表者名	仲 昌和
従業員数	10名
事業内容	送電線鉄塔保守及び保全等工事全般



### 架線工事

鉄塔間に電線を張る作業です。  
3～5kmを一区間として細いロープから太いワイヤロープ、そして電線へと引き換えます。

### 保守・点検

長い間、雨や雪などの自然現象にさらされる送電線。その影響による点検や補修を行い、機能を完全に整えます。

### ドローン延線

当社では業界でいち早くドローンを導入し、高い安全管理のもと、延線作業を行い、多くの実績を誇っています。

COMPANY PROFILE

### 「昌和電工」が目指すもの——

それは一流の職人たちによる妥協のない仕事です。  
そのため当社ではあえて少数精鋭を貫きながら、質にこだわった仕事を続けています。

### 人数にこだわらない理由は

全国に数千人いるとされる送電線工事職人の中で「この職人がいれば」と言われる実力者はほんの一握りだから。たとえ100人いても、少数の本物の職人の仕事には敵いません。“その他大勢”はいらない。ただ、己の腕を磨くことだけに専念する。そんな高度な技術を身につけたスペシャリストとしての誇りを胸に人々の豊かな生活に欠かせない電気を安定的に届けることをお約束します。

